



波沢MIX 周年展

日本の太陽光パネルを、 フィリピンの屋根へ

このプロジェクト・Japan × Philippines

発電品質は、検査ではなくMLPE運用で保証する。
従来のパネル一点検査・通常の製品保証は必須ではない。



中核：MLPE運用による品質保証

現地で最適化・通信・早期交換。オペレーション基本を整えれば現地は自律的に動く。



【すでに】ときがわ町で技術検証済み

ばらつきのある中古パネルが混在しても、この運用で発電を成立。

品質モデル

出荷前に測り切るのではなく、現地のMLPE自律運用で品質を維持する。

従来パス（本事業の前提ではない）

- パネル一点検査
- 製品保証書で品質を主張
- ばらつきパネルを排除

コスト高・遅い・循環を止める



本モデル：現地のMLPE自律運用

- オペレーション基本を整備
- 各パネル出力を自律最適化
- 通信でデータを取得
- 発電しないパネルを早期発見→交換

現地は自律的に動く



循環フロー

検査中心ではなく、現地自律運用で品質を証明する。

日本

1. 回収・選別

2. 輸出・物流

3. 運用基本の整備

浜屋・I-S3



フィリピン（現地自律）

1. 設置 + MLPE装着

2. 出力最適化・データ通信

3. 異常早期発見 → 交換

Amber Horizon・現地運用





すでに着手・開発中

Tarlac倉庫

分散型自家消費ノード。MLPEによる現地自律運用を、フィリピンの電力条件のもとで検証中。



すでに着手・準備中

Mabuting Pastol学校

コミュニティ施設でのレジリエントな自家消費。需要地点での発電を前提に準備を進行中。



パートナー



株式会社浜屋

リユース・物流・国際循環



株式会社I-S3

MLPE・運用品質保証・監視・O&M



Amber Horizon Energy

PH屋根置き・EPC・PPA（設立準備中）

Amber Horizon Energyは設立準備中。教会・商業施設などへの展開はノード検証のあと（これから）。環境価値・カーボンクレジットは構想段階であり、現時点の確定成果ではありません。



続きはこちら（サイト・動画・お問い合わせ）

<https://www.i-s3.com/second-life-solar/qv.html>

このプロジェクト
MLPE運用による品質保証